

谷原・市場地区土地区画整理事業の概要及び課題

1 谷原・市場地区組織の概要

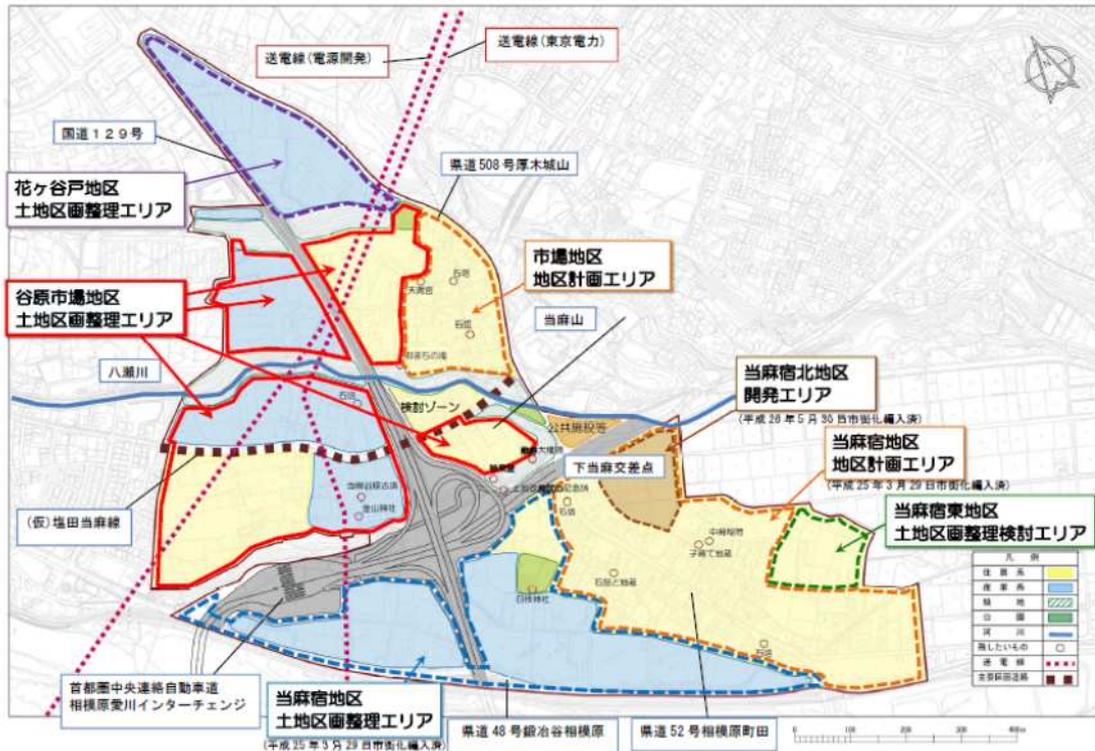
谷原・市場地区では土地区画整理事業法第3条第2項の規定による土地区画整理組合設立準備を行うことを目的とし、平成25年10月に谷原・市場土地区画整理組合設立準備会を設立しました。

組織名	谷原・市場地区土地区画整理組合設立準備会
事業手法	土地区画整理事業
設立	平成25年10月11日
事業面積	約21ヘクタール
権利者数	約150名

2 谷原・市場地区の位置及び面積

当麻地区整備促進事業区域中央部の谷原・市場地区は、JR相模線原当麻駅より西側約1.2kmに位置し、東西約0.8km、南北約0.6kmで約21haの面積を有しています。

当麻地区整備促進事業説明図



3 地区内既存集落の現況

当該地区は市街化調整区域ですが既存集落が分布しており、土地区画整理事業の実施において、配慮が必要となります。

1) 地区内の人口及びその密度

地区内の人口については、次のとおりです。(平成25年8月時点)

人口：134人，世帯数：47世帯，人口密度：6.4人/ha

2) 生活道路

地区北側エリアの東西に走る道路が幅員5m、地区南側エリアを東西に走る道路が幅員7mである他は、行き止まり道路や狭小幅員道路が多く、自動車のすれ違いや走行に支障が生じています。

3) 建物の傾向

建物のほとんどは2階建までの家屋で、建物の高度化の傾向はありませんが、地区内に神奈川県水道企業団所有のポンプ場施設があります。

4) 上下水道、ガス等供給処理施設

電気、電話は各戸に供給されており、上水道は一部を除き供給されていますが、下水道、ガスは未整備です。

5) 学校等文教施設

文教施設は立地していません。



4 土地利用計画図

土地利用計画の試案図の作成を行っておりますが、確定はしていません。
なお、土地利用及び道路計画の概要は次のとおりです。

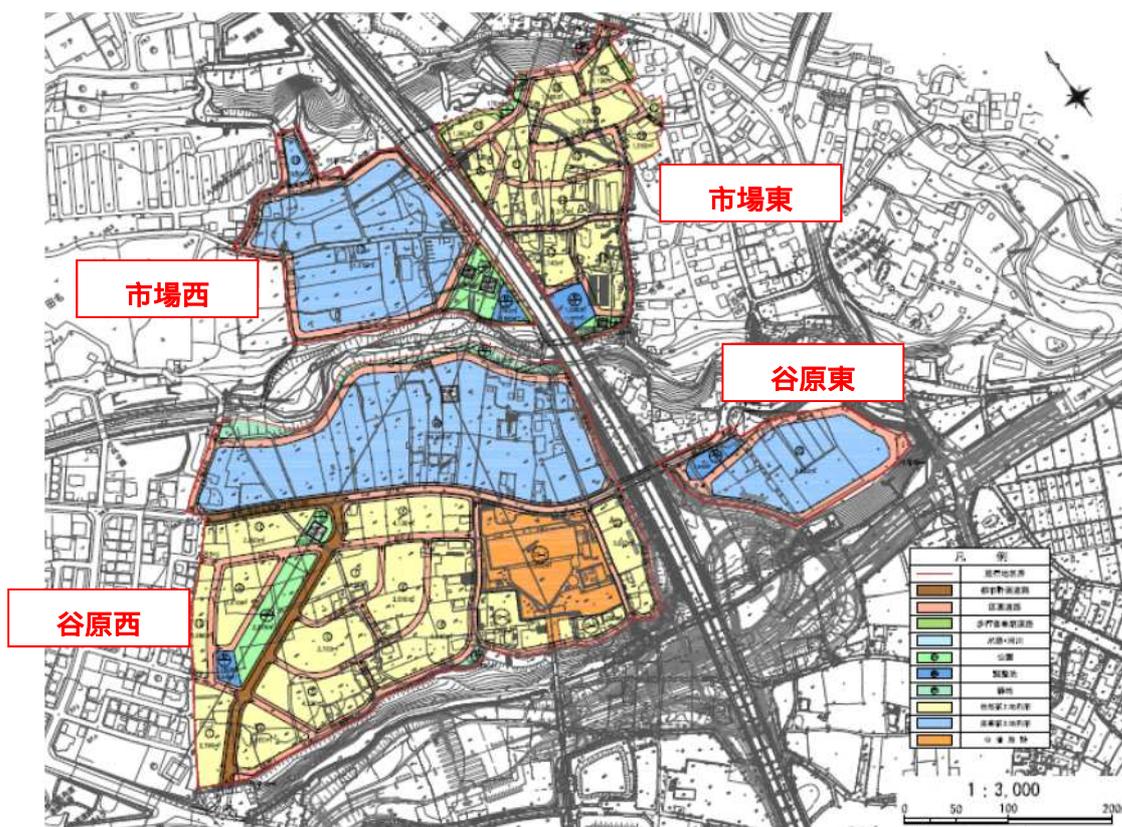
1) 土地利用計画概要

- ・市場西：産業街区
- ・市場東：住宅街区
- ・谷原西：産業街区及び住宅街区
- ・谷原東：産業街区

2) 道路計画概要

- ・市場西：10m周回道路、地区外接続6m道路を配置
- ・市場東：6m道路を標準配置
- ・谷原西：産業街区は8m、住宅街区は6m道路を標準配置
- ・谷原東：産業街区として8m道路を配置

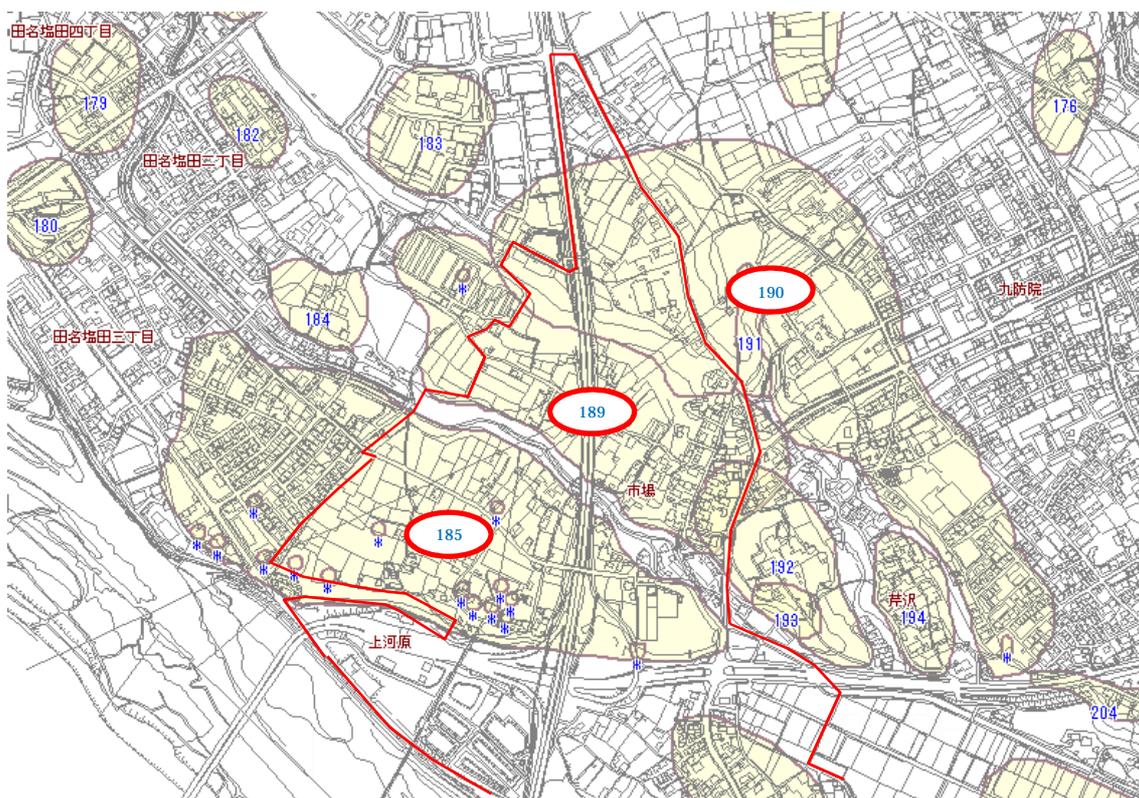
土地利用計画試案図



5 現在直面している課題

1) 埋蔵文化財

谷原・市場地区のほぼ全域が埋蔵文化財包蔵地に指定されており、平成27、28年度に試掘調査を行った結果、ほぼ全域より埋蔵文化財が出土することを確認しています。



さがみはら都市計画マップより

) 相模原市 No.185 遺跡

種別：集落跡

時代：旧石器、縄文、古墳、奈良～平安、中世、近世

) 相模原市 No.189 遺跡

種別：集落跡、市場

時代：縄文、古墳、奈良～平安、中世、近世

) 相模原市 No.190 遺跡

種別：集落跡

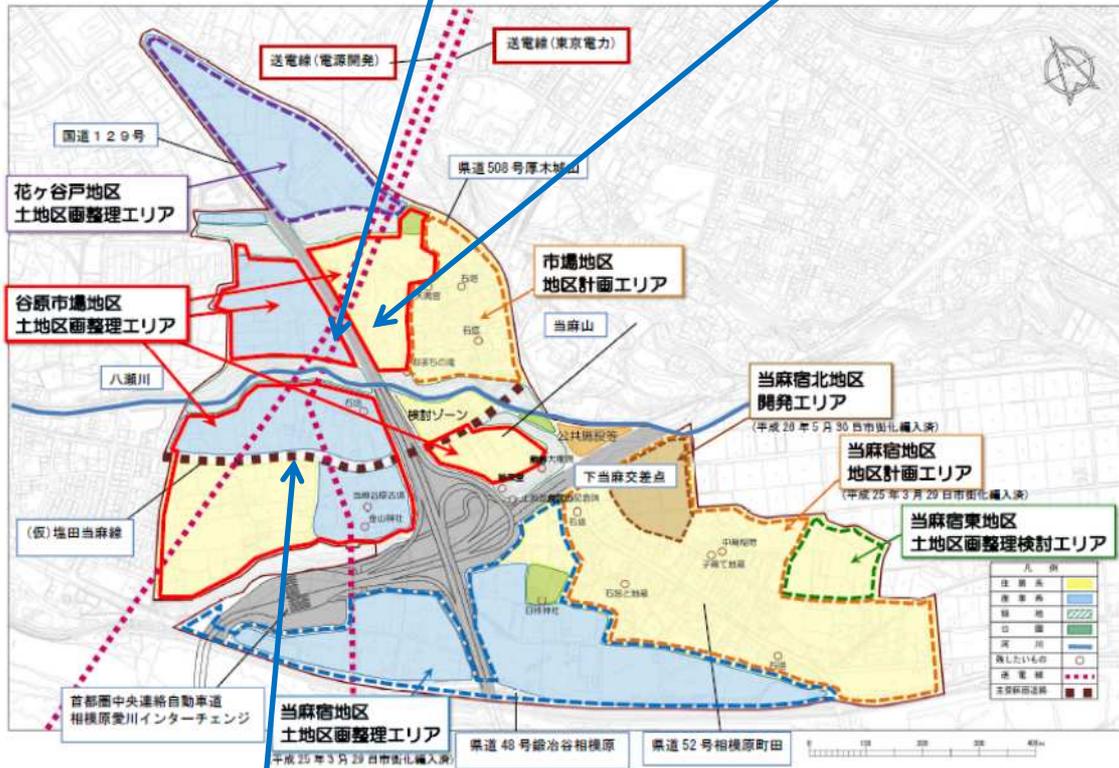
時代：旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良～平安、中世、近世

2) 高圧送電線

下図のとおり、谷原・市場地区を2本の高圧送電線が縦断しており、その直下について土地利用が制限されています。



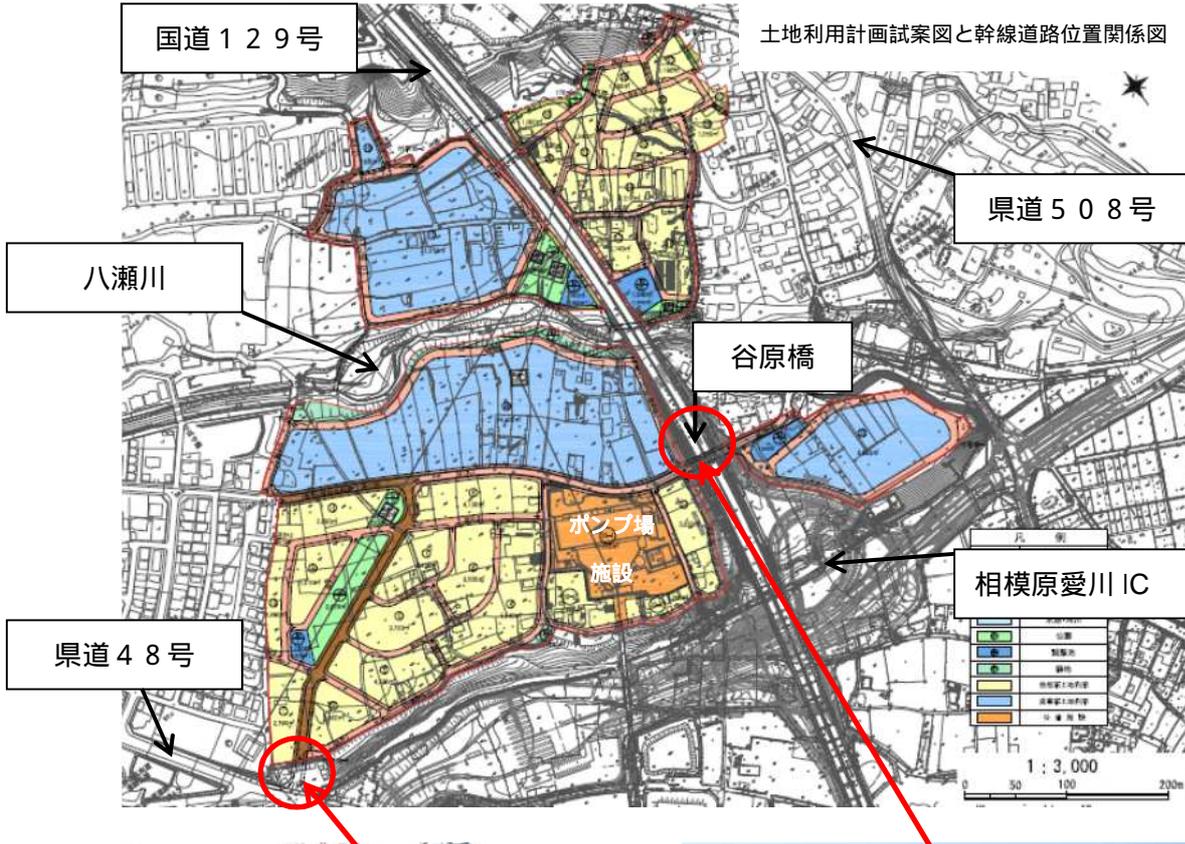
土地利用計画試案図と送電線位置関係図

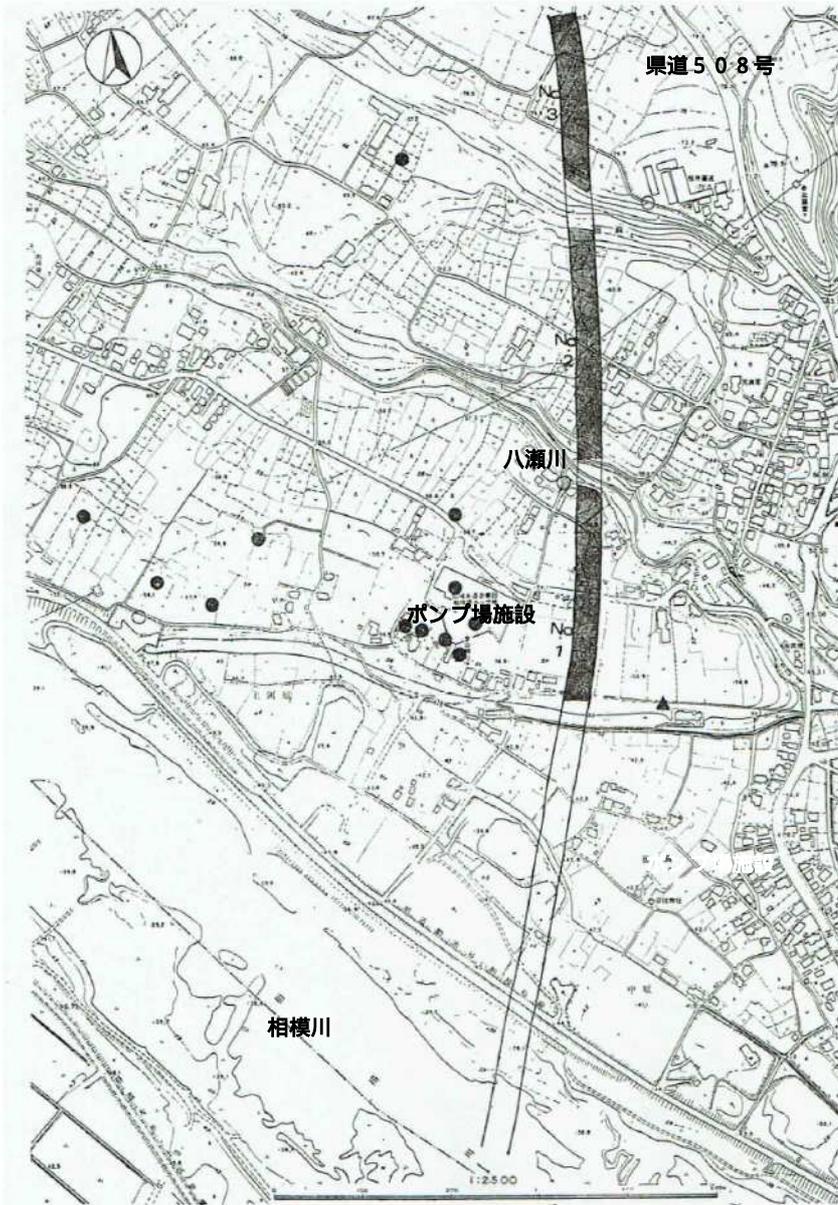


3) 国道129号へのアクセス及び地勢

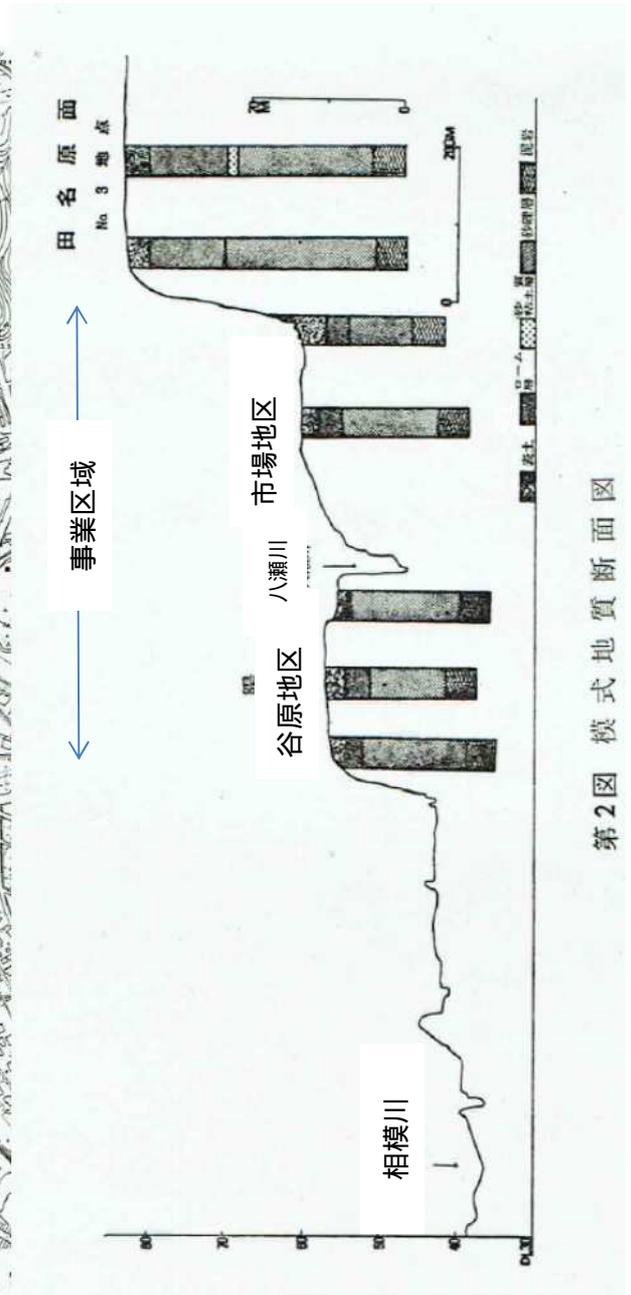
谷原・市場地区は中央を南北に国道129号(W=22.0m)が通っていますが、地区内との連絡は、一部区間で歩行者のみの通行が可能な状態です。

地勢は地区中央の八瀬川において、河川段丘崖による斜面緑地となっており、地区が南北に分断され、大きな高低差が生じていますが、それ以外は概ね平坦な地勢です。





第3図 遺跡地形図(1/75000)



第2図 模式地質断面図

谷原・市場地区河岸段丘状況図

出典

白石浩之ほか 1977 『当麻遺跡 上依知遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告 12
神奈川県教育委員会